

「伝記を読んで自分の生き方について考えよう」

～目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む～

目的に応じて複数の本や文章を選んで読み、内容を的確に押さえながら自分の考えを明確にすることに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、この課題を解決するために、伝記を読んで最も心がひかれた生き方を基に、自分の生き方についての考えをまとめることの指導事例を紹介します。なお、本アイデア例は、第5学年以上を対象としています。

授業アイデア例

〈主な学習活動〉

〈指導上の留意点〉

学習過程

第一次

第二次

第三次

伝記を読んで自分の生き方について考える

① 伝記を読む意義や目的を共有するとともに、学習過程を考え、学習の見直しをもつ。

②③ 共通学習材を読み、その人物の「生き方」について自分と関係付けて考える。

④ 自分の生き方についての考えをもつ。

⑤⑥ 選んだ人物の伝記を読み、その人物の「生き方」について自分と関係付けて考える。

⑦ 自分の生き方についての考えをまとめる。

■ 伝記を読み、その伝記で描かれている人物の「生き方」について「最も心がひかれた生き方とその理由」と「自分の生き方について考えたこと」の教師の提示を基に、学習過程を考え、学習の見直しをもつことができるようにする。

■ 大切にしている行動や考え方を出し合いながら、生き方について考えることの意義や目的を共有し、伝記に描かれた人物の「生き方」を通して、自分の生き方について考えるという単元を通してためあてをもつことができるようにする。

■ 伝記を読み、描かれている人物の行動や考え方を中心に、疑問に思ったことや感動したことなどをまとめ、その後の交流に生かすことができるようにする。

■ 疑問に思ったことや感動したことを中心にグループや全体で交流することを通して、自分の疑問を解決したり、その人物の「生き方」について考えを深めたりすることができるようにする。

■ 伝記に描かれている人物の「最も心がひかれた生き方とその理由」について、グループや全体での交流を通して、自分の生き方についての考えをもつことができるようにする。

■ 自分で人物を選び、共通学習材での学びを生かして伝記を読むことができるようにする。

■ 選んだ人物の行動や考え方を中心に、疑問に思ったことや感動したことなどをまとめ、グループや全体で交流することを通して、自分の疑問を解決したり、その人物の「生き方」について考えを深めたりすることができるようにする。

■ 伝記に描かれている人物の「最も心がひかれた生き方とその理由」について、グループや全体での交流を通して、「自分の生き方について考えたこと」をまとめる。

単元を通して、自分が気になる人物の伝記を読む

第二次・第三次

単元を通して、目的に応じて伝記を読む

他にも似たような出来事はないかな。

書道は小学校に入る前から習っていたな。

教師

疑問に思ったことを解決するために、関係のありそうなところを再度読む。

幼い頃のところを読み返してみよう。

他の気になる出来事と関係付けながら読む。

積み木も続けていたんだ。他にもあるかな。

気になるところを探しながら全体を読む。

気になるところを中心に再度読む。

どうして書道を続けられたのか、もっと詳しく知りたいな。

疑問に思ったことを解決するために、別の本を読む。その際、目次や見出しなどを手掛かりに必要なところを探して読む。

他の本の書道のところを読んでみよう。

複数の本の共通点や相違点などを比べながら読む。

自伝には本人の気持ちも書かれていたから、なぜ書道を続けられたのかが分かったよ。

湯川秀樹が書いた本も読んでみたらかな。

伝記にもいろいろ種類があるんだな。

教師

伝記を読む際には、書き手が異なるなど、様々なものがあることにも着目し、複数の伝記を比べて読むことで人物の「生き方」をより深く知ることができることを実感できるように指導することが大切です。

ポイント

課題の見られた問題の概要と結果

B③ 伝記を読み、自分の考えをまとめる（湯川秀樹博士）

- B③一 正答率 **49.6%** 山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する
- B③二 正答率 **52.5%** 【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】□最も心がひかれた一文とその理由の文章の□に入る内容を書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕C イウ
〔第5学年及び第6学年〕B ウ

第二次③／7

グループで交流することを通して、人物の「生き方」について考えを深める



私は、湯川博士はうまくいかなかったり、失敗したりしたことはないのか気がになったよ。湯川博士はずっと成功を積み重ねてきたのかな。

高校の時に数学で合格をもらえなかったって書いてあったよ。でも、この本にはあまり詳しく書かれていないね。



そうなんだ。もっと詳しく知りたいな。別の伝記を読んでみようか。高校のときの出来事なら、そのことが書かれているのは「高校の日々」あたりかな。

湯川博士は自伝も書いているよ。「数学」という言葉を探しながら、ページの最初や段落が変わるところを中心に読んでいこう。

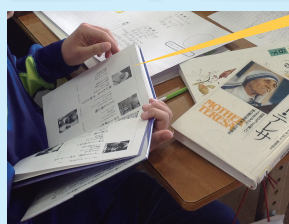
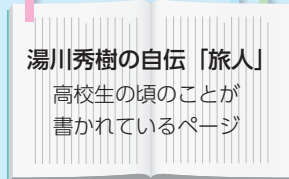
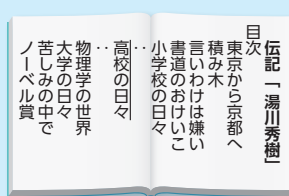


～（疑問を解決するために別の本を読む）～

合格をもらえなかったのは自分の考えたやり方で解いてしまったからなんだね。



湯川博士は「自分のやり方」や「自分の力で」ということを大事にしていたのかもしれないな。他にも似たような出来事はないかな。



ポイント

課題を解決するに当たって、複数の本を比べて読むときには、どのような情報が必要なのかを明確にし、効果的な読み方を選択できるようにすることが大切です。

効果的な読み方としては、次のようなものが考えられます。

- 目次や見出しなどを活用して読む。
- 自分に必要な情報を別の言葉に置き換えて探しながら読む。
- 段落ごとに必要な情報と結び付くような言葉を見付けながら拾い読みをする。

第二次④／7

人物の「生き方」を通して自分の生き方についての考えをもつ



Aさん

「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文にひかれたよ。布団に入ってから研究のことを考えて続けているなんて、すごくねばり強い人だよ。

湯川博士は「挑戦する人」だと思ったよ。数学の難しい問題を解き続けたことや、誰も知らない真実を探ろうと研究に打ち込んでいたことからそう思ったんだ。



Bさん

「最も心がひかれた生き方」のまとめ方には、本問のようにその人物を象徴する一文を選んだり、「～な人」という人物像で表したりするなどの方法があります。



Aさん

研究に打ち込んでいた姿が心に残ったのは同じなのに、Bさんとは生き方について考えたことが少し違うね。

Aさんは、一輪車の練習をねばり強くがんばっているよね。だから、湯川博士のねばり強さにひかれたのかもしれないね。



Cさん

なるほど。一輪車のように好きなことだけでなく、大変なこともねばり強く最後までやり遂げるようにしたいな。Cさんはどうかな。



Aさん

私は手塚治虫の伝記を選んだのだけれど、あきらめずに漫画を描き続ける姿が心に残ったよ。なぜその姿が心に残ったのか、考えていきたいな。



Cさん

同じ人物の伝記を読んでも、生き方の捉え方には違いがあります。捉え方の違いは児童それぞれの経験などによるものです。叙述を基に、なぜその生き方に最も心がひかれたのかを友達と交流することで、感じ方には違いがあることに気付くことができるようになります。それによって、改めて自分の生き方について意識をしたり、考えをより深めたりすることができるようになります。

共通学習材での学びを生かすことができるようにします。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 様々な伝記を揃え、児童一人一人が興味・関心や読書経験に応じて選書ができるような読書環境を整えておくことが大切です。
- 高学年における「A 話すこと・聞くこと」のイの指導事項との関連を図り、伝記を読んで「自分の生き方について考えたこと」などについてスピーチをする活動に重点を置いて指導することも考えられます。